

【公立文化施設への市民参画について】

■市民参加の形態

事業・運営への参加		
1	鑑賞者としての参加	<p>◎市民ホールが主催する公演を多くの市民が鑑賞することにより、ホールの認知度が上がり、経済的な循環が生まれます。そのことが、市民ホールが主催する事業の質の向上や施設の有効活用へとつながっていきます。</p> <p>◎「友の会」等への参加により、間接的に施設の事業や運営を支援することにつながります。</p>
2	参加型事業への参加	<p>◎単に鑑賞するだけに留まらず、ホールの創作する事業に、市民が出演者やスタッフとして参加することが、市民参加の方法として数多く試みられてきています。ただし、市民参加型事業の形態も多様であり、プロのアーティストが中心となって市民が部分的に参加するものから、市民だけで全てを創り上げるものまで様々な形の事業が実践されています。</p> <p>◎舞台芸術事業だけでなく、講座やワークショップなど体験型事業などに市民が参加することも考えられます。この体験型事業への参加が、施設運営への参加につながっていくこともあります。</p>
3	運営への参加	<p>◎公立の文化施設では、市民がボランティアとして運営に参加する事例も多く見られます。基本的には、ホールが主体となって実施する事業に運営補助として参加するという形です。専門的な知識がなくても、講習会や経験のあるボランティアからの指導を受けて行える業務が中心です。その他には、市民が備える専門知識や経験(外国語、簿記、書道、法律などの能力)を活かしたボランティアもあります。</p> <p>◎舞台技術などの専門性が要求される裏方業務を市民が担う事例もあります。これは、当該地域に民間業者が存在しないという事情からはじまったケースが多く、舞台技術研修を重ねた上で、舞台技術スタッフとして実際の舞台技術運営を行います。有償でのボランティアとして活動することもあります。</p> <p>◎ボランティアの対価として、地域通貨を導入する試みもあります。</p>
4	事業企画・推進役としての参加	<p>◎市民自らが芸術文化活動を創造・推進するため、市民がニーズにあった事業の企画を立て、それを運営・実践していくケースもあります。</p> <p>◎養成講座などの育成事業を実施するなど、施設から活動を仕掛け、人材を育成していくことが求められます。</p> <p>◎事業の企画・運営に関わる方法や、事業全体の一定割合について複数の企画組織がそれぞれ得意な分野を担当していく方法など、ホールの運営に適した様々な方法を選択していくことになります。</p>
5	施設の管理運営者としての参加	<p>◎市民参加の発展した形として、施設運営を市民組織が自ら担う事例も全国に出ています。</p> <p>◎市民組織が NPO として法人化が可能となったことや、指定管理者制度の導入により民間組織が公の施設の管理運営を担えるようになり、行政のパートナーとしての市民参加が可能な状況になっています。</p>
評価への参加		
6	評価への参加	<p>◎評価に市民が参加していく場面として、大きく市の文化政策などを審議・評価するものから、具体的な市民ホールの設置目的や基本理念に対しての施設評価を行うもの、管理運営を担う組織に対し施設運営を評価するものなどがあります。</p> <p>◎施設評価は、掲げている基本理念に基づき、周辺地域への影響や小田原市に及ぼす効果などを全体的に評価していきます。</p> <p>◎有識者や専門家などによる評価とあわせて市民による評価を行う機会を設けていきます。</p>

■市民参画事例

1 鑑賞者としての参加

種類	想定される内容	必要となるもの	小田原市での類似事例
友の会組織	・年会費 2,000～3,000 円程度(通信費相当) ・特典:自主事業チケット先行予約、チケット割引、情報誌やチラシの送付、館内レストランカフェ割引など ・友の会活動の延長として、上記のような市民活動メニューが用意されている例もある。 ・施設運営組織が友の会組織を持つ場合と、組織外部に友の会組織を作る場合がある。	・事務局機能	

2 参加型事業への参加

種類	想定される内容	必要となるもの	小田原市での類似事例
市民参加型事業	・ホールが制作する市民参加型作品へ、実演者として参加する(演じる、歌う、演奏するなど)。 ・実演するだけでなく、下記「3 運営への参加」で整理している支援などを行うこともある。	・事務局機能 ・市民参加型事業の計画的な実施	

3 運営への参加

種類	想定される内容	必要となるもの	小田原市での類似事例
会場案内(レセプション)	・チケットのもぎり、会場案内、チラシ折込み、クローク・サービスなどのフロント業務 ⇒養成講座を定期的実施しサービスレベルの向上を図る必要がある。	・ユニフォームなどの貸与 ・着替えスペース、待機スペースなど(会議室などの転用可能) ・研修・養成等の機会	・小田原文化サポーター(レセプション部門)
場内アナウンス	・会場での案内アナウンス(影アナ)、禁止事項や緊急時の対応等の説明など ⇒養成講座を定期的実施しサービスレベルの向上を図る必要がある。	・待機スペースなど(会議室などを転用) ・研修・養成等の機会	・FM ラジオにトライ!番組制作ワークショップ(H22)
託児サービス	・事前予約による未就学児などの一時預かり(都内の民間事業者の場合は、自己負担 2,000 円程度。開演 30 分位前から終演までの一時預かり。0 才児 1 名に対してシッター1 名、1才児2:1、2歳児以上3:1程度の基準で対応)	・託児室/キッズルーム	・はちの会(託児ボランティア)
ビュフェ・サービス	・公演の顧客に対する軽食やドリンクのサービス	・ユニフォームなどの貸与 ・着替えスペース、待機スペースなど(会議室などの転用可能)	
ホール・デコレート	・季節や演目に合わせた花や樹木などでホワイエ・ロビーなどのデザイン、飾りつけ	・水場のある作業スペース	・クリスマス・リース作成ワークショップ(H23)
個別事業へのサポート	・特定の催し・事業へ協力したい方を募集 ⇒人材の把握、連絡ルートづくりが必要。		・小田原城ミュージックストリート・ボランティア ・小田原映画祭・ボランティア
作品ガイド 展示サポート こども鑑賞教室	・展示作品の保守や説明など(学芸員による解説指導を受ける。) ・アーティストが新たな作品制作をその場で行うような場合には、制作の手伝い・補助を行う。 ・ギャラリートーク・ワークショップなどの補助	・会議スペース	・尊徳記念館ボランティア解説員
ピアノ弾きならし	・いつも最高の音色を奏でるピアノとするため、ホールにあるピアノを使用頻度の少ないときに弾きならす。		・市民会館でスタインウェイを弾こう!(H20・21)

記録写真の撮影 ビデオ撮影 アーカイブづくり	・公演の写真撮影・録画/DVD 作成 ・チラシ・ポスターなどの保存など ⇒実費分を依頼者支払い		
照明・音響など 裏方サポート	・音響や照明などのワークショップを実施した上で、ロビーコンサート、ストリートミュージックなどの屋外コンサートなどの PA や照明設営、オペレートなどで活躍。 ⇒裏方業務については、危険を伴う割合が高いため、きちんとした養成講座・ワークショップなどを実施した上で、可能な業務範囲を見極めて実施することが必要となる。	・会議スペース	・小田原城ミュージックストリート・ボランティア ・音響技術ワークショップ(H24 予定)
事務局 デスク機能	・市民文化団体などが企画実施する催し物の問い合わせなどの対応 ・NPO 組織になった場合は事務局(有償ボランティアなど) ・市民活動の中間支援/中間支援の中間支援的位置づけ ・ボランティア間での交流会などの実施 ⇒市民活動の人材のコーディネートの役割が期待される。	・支援系スペース ・パソコン ・電話/FAX	・市民活動サポートセンター(市民会館4階)
機関紙発行 活動の紹介HP作成	・市民文化活動の状況、ホール主催事業などの市民の目線での取材・編集など ・文化情報のホームページ上での共有化	・印刷機/プリンター ・パソコン	・無尽蔵プロジェクト(市民による芸術文化創造)イベントカレンダー ・文化情報紙作成ワークショップ(H23・24 予定)
ポスター・チラシ 作成	・チラシのデザインアドバイス、印刷、DM 発送など	・印刷機/プリンター ・パソコン	・チラシ作成ワークショップ(H24)

4 事業企画・推進役としての参加

種類	想定される内容	必要となるもの	小田原市での類似事例
市民企画の 公募制度	・アートマネジメント講座などの受講者が企画を作り、一定の基準を満たした事業を実施する。(施設・付帯設備などを特定日に無料にして実施するケースや、自主事業として組み入れられるようなケースもある。) ・施設の運営方針などの趣旨に沿った事業であること、実施にかかる役割分担・リスク分担の明確化などに留意する必要がある。(審査は専門家の外部組織に委ねられるケースもある。)	・市民公募企画やリクエストの制度化	・おだわらたまてばこ(小田原文化サポーター・H21/H22) ・市民活動応援補助金(文化活動を含む市民活動一般を対象) ・市民による小田原音楽フェスティバル ・アートマネジメントワークショップ(H23～24 予定) ・ODAWARA わくわくプロジェクトによる文化事業

5 施設の管理運営者としての参加

種類	想定される内容	必要となるもの	小田原市での類似事例
指定管理者として 施設の管理運営 の実施	・施設の管理運営業務を担う。安定的に継続して運営できるよう組織化が望まれる。	・指定管理者制度導入 ・組織化された活動団体	

6 評価への参加

種類	想定される内容	必要となるもの	小田原市での類似事例
評価委員会	・市民ホールの活動内容が基本理念の実現に向けて、効果的・効率的に実施されているかの評価活動を行う中での一端を担う。	・評価システムの構築	